



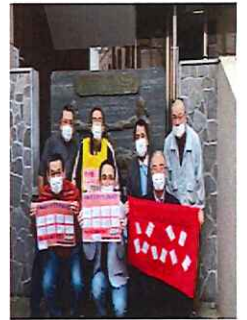
国労石川

国鉄労働組合 石川県支部
発行人 大巻道秋
編集人 後藤通広
2023年3月14日 26-N0.10

JR西日本

ベア 3,000円回答！

物価高騰に対応できず 家計は大変！



西日本会社は、3月10日に「2023年春闘における賃上げ要求に対する回答」を行ないました。主な回答内容は、ベア3,000円(3,197円・エリア手当反映分含む)・シニア社員基本給に3,000円加算・契約社員時間給20円加算(ベア3,200円相当)・期末手当などは別途回答となっています。

この間、物価の高騰を背景に、労働者の厳しい生活実態が明らかになってきています。今回の低額回答は、労働者・家族の思いに反するものであり、納得できる回答ではありません。また、期末手当に対しても、年間臨給として、国労要求を踏まえた回答をするべきです。石川県支部は、3月13日、「ベア3,000円の低額回答に対する抗議と要請」を本社に送付しました。

ベア 3,000 円の低額回答に対する抗議と要請

国労西日本本部は、安全・安心の職場と鉄道輸送を確立するために、新型コロナウイルス感染のリスクを負いながら職場で日夜懸命に奮闘している労働者と家族、グループ会社で働くすべての労働者の労苦に報いるよう、13,000円の賃上げをはじめとする国労統一要求を掲げ交渉を行ってきた。

3月10日、会社は国労に対して「①基準昇給を実施するとともに職務遂行給に一律3,000円の加算、②シニア基本給に3,000円の加算を行う」とする低額ベア回答を行った。

この低額ベア回答は労働者の労苦に背を向けるものであり、日々業務に精励している労働者のモチベーションも保てないうえ、将来の希望を失わせるものである。

今日の経営を支えてきたのは、安全・安心な鉄道輸送をめざし、日々、奮闘している労働者である。JR西日本会社の体力と大企業としての社会的責務を鑑みれば、この低額回答は到底納得いくものではない。

日々の生活は、燃料費や原材料の高騰による物価上昇により、これまでになく苦しいものとなっている。今こそ労働者の労苦に応え、生活改善が実感できる賃上げを行い、健康で安心して働き続けられる労働環境、生活基盤の底上げを図ることこそが経営陣の責務である。

3,000円の低額ベア回答に対し怒りを込めて抗議するとともに、「13,000円のベースアップと夏季手当3.0箇月・年末手当3.0箇月で生活改善を図りたい」と期待する労働者とその家族に対し真摯に応えるべく、再回答することを強く要請するものである。

以上